

	レポートNo. 1 高校の書道は芸術科に属しています。小中学校で学んだ書写とは違い、書の表現と鑑賞の能力を伸ばしていくことが目標となります。 そのために様々な古典・古筆を学習します。
問 一	語句を答える問題です。 設問の下に該当ページが書いてありますので、そのページを隅から隅まで読むか、P140～146 の用語解説ページで各語を調べてください。 ただし、①は自分が思ったこと、考えたことを述べてください。 面倒くさいと思いますが落ち着いて取り組んでください。
問 二	漢字の書体は大きく分けて5つあります(楷書・行書・隸書・草書・篆書)が、ここでは篆書を時代・書風によって3つにわけてあります。 (P12・13 を見てください) なんとなく、楷書があって、それがくずれて行書になり、草書になったというふうに考えてしまいが、実際には楷書は最も新しく成立した書体です。 甲骨文・現在見つかっている最古の漢字です。今から三千年以上まえの殷代の文字です。亀の腹甲や牛の肩甲骨に刻まれた文字で、線は直線的で、字形構成には素朴なおもしろさがあります。 金文・殷代後期から周代にかけて使われていた文字で、青銅器に鋳込まれたものです。鋳型に鋳込まれたものという事情があって、線質は丸みを帯びて豊かな感じを与えるものが多いです。 小篆・秦の始皇帝が中国を統一したときに作られた文字です。縦長で左右対称の美しい書体です。 (ここまでが篆書) 隸書・篆書を簡略化した書体で、漢代に使われていたものです。扁平で波磔といわれる払いの線が入っているものが多いです。 草書・隸書を実用的に速く書くために簡略化した書体で、省略が甚だしいので、読みにくくて紛らわしい文字がたくさんあり、現在、日常生活で使われることはあまりありません。しかし、字形やリズムに変化をつけやすいので、芸術的な書の作品制作には多く用いられています。 行書・草書と同じく、隸書を簡略化した書体です。速く書け、しかも読みやすい文字です。 楷書・一点一画を明瞭に書く書体で、現在、日常生活で最も広く用いられています。 文字の出来はじめから現代まで形を変えながらも、途切れることなく使われ続けているのは、世界広しといえども漢字だけです。 ① 解答するときは篆書を時代によってさらに3つに分けてください。 ② ①の番号で答えるのではなく、各書体名を記入してください。
問 三	落款印は書画作品には必ず入れなければならないもので、作品の完成と作者を証明するものです。ただ押してあるだけというわけではなく、作品の構成要素としてとても重要なものです。印以外にも署名などを入れます。 教 P132～137 を見てください。 刻字については P138 を見てください。
問 四	空欄があると再提出になります。感想も書くのを忘れないようにしてください。 感想も含めて、レポート全体で主体的に取り組む態度を見ます。